

医療法人陽心会プレゼンツ ヘルシーセッション

患者さんの心のスイッチはみんなそれぞれ形が違います。

現場スタッフはいつも感度を磨いておくべきでしょう。



高杉 紳一郎 × 与儀 清介

たかすぎ しんいちろう
九州大学病院リハビリテーション部診療准教授
1958年、福岡県生まれ。83年に九州大学医学部
卒業後、10年間にわたり整形外科医として臨床
診療に従事。93年から九州大学病院リハビリ
テーション部に勤務。医学博士。

よぎ せいかい
大道中央病院リハビリテーション部長

今回は、10月11日に開かれた医療法人陽心会主催の「医療福祉問題研究会」で講師を務めた九州大学病院の高杉紳一郎先生と大道中央病院リハビリテーション部の与儀清介部長が、リハビリの「極意」についてトークします。専門家同士の深みのあるセッションをどうぞ。

心のスイッチを探す

与儀 本日の講演会、お疲れ様でした。私は現在、大道中央病院のリハビリ科で合計約80人いるPT(理学療法士)やOT(作業療法士)の管理業務を行っています。リハビリの現場にいた頃は患者さんのモチベーションを上げるための方策にいつも頭を悩ませていたのですが、高杉先生の視点で患者さんの心を

高杉 PTやOTなどのセラピストは職務上の技術を磨くのも大切ですが、常に心のアンテナを磨いて研ぎ澄ましておかないとその患者さんのスイッチが入ったかどうかもわかりません。気がつかない人は通り過ぎてしまうんですね。

与儀 おっしゃるとおりですね。

メタボでロコモという「悪循環」

与儀「メタボリック症候群」、いわゆる「メタボ」はよく知られていますが、一方で「ロコモティブ症候群」という言葉についてはそれほど認知されていないような気がします。あらためてロコモティブ症候群についてお話し頂けませんか。

高杉 ロコモティブは「ロコモ」と略されていて「運動器」のことを差します。運動器とは骨・関節筋肉神経などの総称で、自動車で例えるとボディやタイヤ、サスペンションといったところでしょう。ボディが錆びついたりタイヤがすり減ったりすると自動車はともに走れませんよね。私たち人間も同様に骨がもろくなつて転倒したり、軟骨がすり減って腰や膝に障害が出ると「寝たきり」の状態になりやすくなります。実際に寝たきりになった方やその予備軍も含めてロコモティブ症候群とされており、基本的にはメタボと同じ概念ですね。メタボは自動車で例えるとエンジンが故障したりオイルが劣化している状態で、人間でいえば心筋梗塞や脳梗塞、糖尿病などの原因になります。自動車はエンジンも大切ですが、同時にボディやタイヤがしっかりしていないといけません。ですからメタボとロコモを同時に予防しましょうということですね。

「継続の力は『心』にあり」

高杉 実は来年度から要介護認定で「要支援1」または「2」と認定された方に関しては介護保険の適用が受けられなくなります。つまり維持期のリハビリが医療から外されてしまうということです。したがって今後は維持期のリハビリに携わるスタッフのレベルアップが不可欠になってきます。急性期のリハビリ現場には多くのPTやOTなどのセラピストがいますが、介護の現場にはまだまだ足りません。医療現場のノウハウを早急に介護の現場にも応用できるよう

動かす「ゴツ」のようなものはありますか。

高杉 こちらこそありがとうございます。まず、リハビリには急性期・回復期・維持期の3段階があります。病気やケガの発症直後などに行う急性期リハビリやその後のサポートとして行う回復期リハビリであれば、決まった時間に看護師さんが手助けして行われます。したがって患者さんの意志に限らずリハビリは行われるのですが、社会生活への復帰をめざす維持期のリハビリになると少し変わってきます。看護師は関与しなくなるので患者さんご自身のモチベーションが問題になってくるんですね。そこで、回復期に従事しているスタッフは患者さんのモチベーションを保つための方法を考えなければいけないわけです。

与儀 講演会のサブタイトルは「心が動けば体が動く」となっていましたね。

高杉 患者さんのリハビリに対するモチベーションを上げるため、私は常に患者さんの心のスイッチが入るネタ探しをしています。スイッチが入れば熱心にリハビリに取り組んでくれるようになりますから。

与儀 高杉先生は介護用のゲーム機や筋力向上のためのロボットを開発されているそうですが。

高杉 コンテンツ産業やロボット技術は日本

な対策が必要ですが、介護の現場でPTやOTなどを揃えることができないという現実があるのも事実です。

与儀 確かに医療の分野で受けられたりリハビリを介護の分野で継続できるような体制づくりは必要です。当グループのデイサービスでは、そのあたりをきちんとフォローできるとようなシステムを作っています。PTやOTが介護スタッフを指導してそれぞれの利用者にあつた個別のプログラムを作り、そしてそれを現場が維持、検証していくシステムですね。

高杉 セラピストをすぐに増やすことはできませんから、そのノウハウを介護現場に届けるような形は現実的で有効といえるでしょう。あと、医療の現場ではなかなか重要視されないのですが、「生きがい」や「人生」という部分も介護の分野では重要です。

与儀 患者さんのリハビリへの意欲を高めるためには重要な要素ですよ。私はリハビリというのは「お手伝い」だと思っていますので、その人の意欲を高めるのが私たち介護現場で働く者の使命だと考えています。

高杉 「継続は力なり」ですよ。そして「継続の力は『心』にあり」です。続けないと効果は十分には発揮されません。介護従事者は正しいリハビリをしっかりと勉強して、それを継続させる方法をあの手この手で考える。患者さんの心のスイッチを入れることが大切です。そのスイッチはみんなそれぞれ形が違うので、現場のスタッフはそのスイッチが入るよう、いつも感度を磨いておくべきでしょう。

与儀 今日はありがとうございます。

高杉 こちらこそありがとうございます。

の得意分野なので、それを高齢者のリハビリに生かしていけたらいいなと思っています。将来的にはもっと工夫をこらして、継続的なリハビリができるようにしたいですね。

常にアンテナを研ぎ澄ませます

与儀 私は今でもできるだけ多くの患者さんの名前を憶えるようにして「○○さん、以前と比べるとだんだん良くなっていますね」と名前まで声を掛けてあげようとしています。相手を思いやる心がベラスにないこの仕事はできないと思っていますので、職員に対してもそのあたりは強く話しています。

高杉 名前を呼んで声掛けをするというスキップは有効でしょう。しかし最近では個人情報保護の観点から患者さんを番号で呼ぼうという流れがあることも事実です。患者さんによっては名前前で呼んでほしい方もいらっしゃるんじゃないかということです。大道中央病院には職員に対して接遇を指導する講師もいらっしゃると思います。いずれにしても職員教育は必要ですよ。

与儀 ひとりの患者さんの心を動かすためにどのような声かけが有効なのか、すべての職員が考えなければいけないですね。



医療法人 陽心会
理事長 高良 健



社会福祉法人 陽風会
高良 健

大道中央病院
那覇市安里1-11-37 TEL.098-869-0005 (代)
美容形成部門 TEL.098-869-0066
リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050

メディカルプラザ大道中央
那覇市宇大道123 TEL.098-886-0007 (代)
一般内科部門 TEL.098-869-0711
循環器部門 TEL.098-886-0072
糖尿病部門 TEL.098-886-0115
人工透析部門 TEL.098-886-5151
検診部門 TEL.098-886-0078

小規模多機能型ホーム大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0018

地域交流センター大道
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0056

グループホーム大道が丘
那覇市大道94-3 TEL.098-885-0036

(提携)メディカルエステ大道
那覇市安里3-1-3 TEL.869-0018

(提携)福祉用具貸与・販売事業所
那覇市安里128 TEL.098-885-0100

(提携)ヒルズガーデンクリニック
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0333

(提携)ヒルズガーデン那覇
那覇市松川20-1 TEL.098-885-0300

介護老人保健施設 やすらぎの里
那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030

在宅総合ケアセンター陽心会
那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030

大道老人訪問看護ステーション
那覇市大道128 TEL.098-885-2885

グループホームたかまーみの家
那覇市安里3-1-47 TEL.941-0080

(提携)那覇市地域相談センター末吉
那覇市首里末吉4-6-1大明ビル1F TEL.098-885-0178

末吉老人福祉センター
那覇市首里末吉2-14 TEL.098-886-3510

(提携)有料老人ホーム健寿の杜
那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070

デイサービスセンター安里
那覇市安里388-5 TEL.098-886-0328

デイサービスセンター三原
那覇市三原1-31-20 TEL.098-840-0051

辻町若狭クリニック
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0012

(提携)小規模多機能型ホーム若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550

(提携)地域交流センター若狭
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0552

(提携)グループホーム若狭の家
那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551

壺川老人福祉センター
那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139

ケアハウス常夏の島
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036

小規模多機能型ホーム牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025

地域交流センター牧志
那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025

小規模多機能型ホーム三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027

地域交流センター三原
那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027

(提携)小規模多機能型ホーム辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070

(提携)地域交流センター辻
那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070

(提携)有料老人ホーム松風邸
那覇市辻2-10-4 TEL.098-869-8557

那覇市地域相談センター若狭
那覇市若狭3-5-17 TEL.098-863-1165

辻老人憩の家
那覇市辻2-14-1 TEL.864-0580